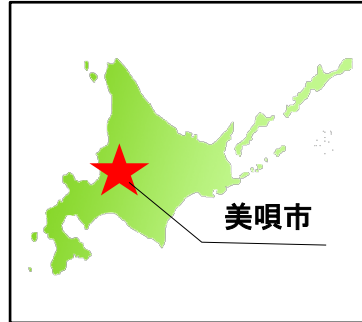


地元農業による食育を意識した取組～グリーン・ルネサンス推進事業～ 事業実施主体:美唄市(北海道)

- 美唄市では、多くの市民が食育を意識して生活できるよう、地域の生産者や各団体の協力のもと、農業の実体験活動を中心とするグリーン・ルネサンス事業を推進している。
- この中で、幼稚園児から中学生までが行う農業体験学習や自ら収穫した農産物を調理、共食する収穫祭を行った。
- これらの取組で、子どもたちは地元農業の取組みに理解を深め、食に興味を持つことで食生活を見直す契機となり、バランスのとれた健全な食生活を送るよう、将来に渡って生きる力を養うことができた。



【取組の内容】

○ 農業体験学習

美唄市内の小学校3校、中学校2校において、延べ1,029人が稲作体験(稲刈、脱穀)や畑作体験を行った。
また、今年度から新たに市内の幼稚園2園において、50人がとうもろこし収穫体験を行った。

稲作体験の様子



とうもろこし収穫体験の様子



○ 収穫祭

小学校2校において、子どもたちが収穫した作物を調理し共食を行った。

【取組の成果】

稲作体験では、小学5年生たちが育て上げたお米を、次年度体験する4年生へ配布し、稲作に興味や関心を持ってもらい、次年度活動への意識を高めることができた。

また、自分たちで収穫を体験することで、昔の人の苦労

や農業機械の進歩を実感するとともに、その後の収穫祭において、自分たちの収穫したお米をみんなでおいしくいただくことができた。

収穫祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止ため、学校によって中止になったり、密を避けるよう2日2組に分けて実施した所もあった。

○体験者数

体験内容	前年度	本年度
小学校稲作体験	230人	258人
小学校菜園の畑作体験	503人	647人
中学校菜園の農業体験	117人	124人
計	850人	1,029人



各校収穫祭の様子